

外観品質に優れるオオバ新品種「ひたちあおば」

[要約]

オオバ新品種「ひたちあおば」は葉形や鋸歯の形状が良く、外観品質に優れる。草丈および節数は「北浦No.1」よりやや少ないが、有効茎数は「北浦No.1」よりやや多い。抽台は「現地在来系統」よりわずかに発生しやすいが「北浦No.1」より発生しにくい。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成果
区分

普及

1. 背景・ねらい

本県のオオバは、行方市を中心として周年栽培が行われており、全国第3位の生産地である。しかし、現地では系統の統一が成されていないことから、品質のバラツキが大きいことが問題となっている。そこで品質向上を図るため、品質や収量性に優れた品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたちあおば」(旧系統名：ひたち1号)は、平成15年に筑波大学より分譲を受けた「青シソ-3」(長野県産)と「芳香青しそ」(福岡県産)を交配し、選抜、固定を進めた系統である。
- 2) 葉形は、整ったハート形で表面に光沢があり、鋸歯がやや深く、小鋸歯発生頻度が高い等、外観品質に優れる(図1、表1)。
- 3) 草丈は、「北浦No.1」、「現地在来系統」よりやや短く、節数は「北浦No.1」、「現地在来系統」よりやや少ない。収穫後期の有効茎数(収穫可能な葉を付ける茎の数)は「北浦No.1」、「現地在来系統」よりやや多い傾向が見られる(表2)。
- 4) 抽台は、「現地在来系統」よりわずかに発生しやすいが、「北浦No.1」より発生しにくい(表2)。
- 5) 生産者評価は、「現地在来系統」に比べて、形状、香りが良く、苦みは弱く評価が高い。収量は「現地在来系統」に比べてやや少ないが、問題にはならない程度であり、総合評価では有望という評価が多い(表3)。
- 6) 市場評価は、形状、色、照り、苦み、香り、総合評価の全ての項目において、「現地在来系統」と同等以上の評価で、特に、形状、香りの点で高い評価である。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「ひたちあおば」は平成24年2月21日に品種登録された。
- 2) 「ひたちあおば」は草勢が低下すると収量が減少するので、強度の摘葉を避け、草勢を維持する必要がある。
- 3) 種子の供給体制については、検討中である。

4. 具体的データ

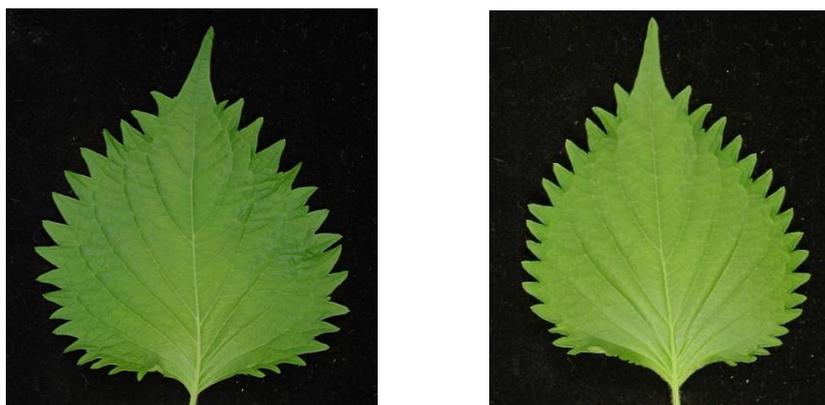


図1 葉の外観 左:「ひたちあおば」 右:「北浦 No.1」(対照)

表1 葉の形状

| 品種・系統 | 葉形 | 鋸歯の深さ | 小鋸歯発生頻度 | 光沢 | 葉の波打 | 葉の厚さ |
|--------------|--------|-------|---------|----|------|------|
| ひたちあおば | ハート形 | やや深い | 高 | 強 | 小 | 普通 |
| 北浦 No.1 (対照) | 円形～長卵形 | 普通 | 中 | 普通 | 中 | 薄い |

表2 現地圃場での生育

| 作型 | 圃場名 | 系統名 | 草丈 (cm) | 節数 (節) | 節間長 (cm) | 有効茎数 ¹⁾ (本) | 抽台率 (%) | 調査日 |
|----|------|---------|---------|--------|----------|------------------------|---------|----------|
| 夏作 | 農家 A | ひたちあおば | 45.4 | 13.2 | 3.4 | 16.0 | — | H18.8.10 |
| | | 北浦 No.1 | 53.8 | 15.8 | 3.4 | 15.3 | — | H18.8.17 |
| | 農家 B | ひたちあおば | 58.5 | 11.4 | 5.1 | 26.8 | — | H18.8.17 |
| | | 北浦 No.1 | 65.8 | 13.3 | 4.9 | 22.0 | — | H18.8.17 |
| 冬作 | 農家 B | ひたちあおば | 67.1 | 11.2 | 6.0 | 11.9 | 49.6 | H19.2.7 |
| | | 北浦 No.1 | 76.3 | 12.2 | 6.2 | 10.8 | 68.3 | H19.2.7 |
| | | 現地在来 | 81.1 | 12.0 | 6.8 | 9.0 | 36.3 | H19.2.7 |

夏作：H18.4.11 播種、5.16 定植 冬作：H18.9.5 播種、10.2 定植

¹⁾ 収穫可能な葉を付ける茎の数

表3 地域適応性検定試験における生産者評価 (平成 20 年夏作)

| 項目 | 評価 ¹⁾ | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|------------------|--|-------------------|-------|------|---|---|
| 形状 | 良い ↔ 悪い | | ●●○ ²⁾ | ● | ○ | | |
| 色 | 濃い ↔ 薄い | | ●○ | | ●○ | | |
| 収量 | 多い ↔ 少ない | | | | ●●○○ | ● | |
| 日持ち | 良い ↔ 悪い | | | ○ | ●●●○ | | |
| 病気の発生 | 少ない ↔ 多い | | | ○○ | ●●● | | |
| 苦み | 弱い ↔ 強い | | | ●●●○○ | | | |
| 香り | 良い ↔ 悪い | | ●● | ●○○ | | | |
| 総合評価 | 有望 ↔ 導入困難 | | ●○○ | | ●● | | |

¹⁾ 評価は「現地在来系統」を3とした場合の相対評価

²⁾ ●および○は担当生産者5名の個別評価 (JA:● 任意組合:○)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 地域特産野菜優良種苗の育成・平成 15～17 年度・生工研野菜育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成 18～20 年度・生工研野菜育種研究室、園研野菜研究室